

新宮山彦ぐるーぷ 第1825回

台風11号による白谷林道通行可否確認と

持経宿へストローブ運搬・組立とビケ足場持帰り

◇実施日：平成27年7月19日（日）天候：曇後時々晴

◇参加者：川島 功、児嶋道夫、湯川一郎 計3名。

当初は、持経宿の不動堂屋根葺き替えと薪小屋基礎造り作業などの計画であったが、台風11号による白谷林道通行可否と持経宿の状況を確認する必要があった。

前日、池郷林道工事関係者が白谷林道に入るということであったが、情報を得られないままの出発となった。

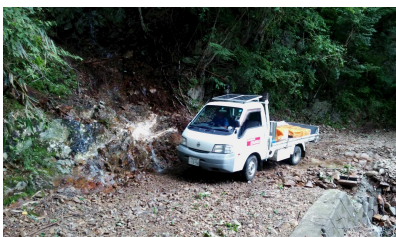
7時00分、発電機、耐熱レンガなどを搭載した児嶋さんの1トントラックが川島宅横に到着、さらにブロック20個を積み足し、湯川の乗用車には洗濯済の毛布を積み込んだ。

白谷林道ゲートを8時52分に通過。約200M先で重機で路面整備作業をしている運転手に、川島さんが林道の状況を聞くと、車では持経宿へは入れないだろうとの答えが返ってきた。

ゲートから2.1km地点



児嶋さんの1tトラック



ゲートから2.1キロ進んだところで、早速、土砂で道を塞がれ、乗用車では無理と判断し、湯川車は留め置くこととした。

ここから平治谷を通過するまでの間、次から次へと土石や倒木の処理が続き、持経宿には11時10分に到着、10.5キロの林道を通すのに2時間余りを費やしてしまった。

早速、児嶋さん改造のロケットストローブの設置組立に取り掛かる。12時過ぎに昼食、小屋の中の気温は20度、湿気はあるものの適度に風も入り快適だ。



改造ロケットストローブ



煙突の煤取り

児嶋さんと湯川は、煙突の内部にこびりついた煤を木の棒や葉の付いた枝でゴシゴシと擦り取る。川島さんは屋根にあがり、煙突の取り付けにかかるが煙突固定金具と直角エルボが各1個足りず、又到着した時間が遅かったことから、ロケットストローブの取り付け作業は一旦ここで切り上げ、解体したビケ足場を持ち帰るための積み込みに取り掛かる。

15時10分、持経宿を出発。タイヤがパンクしないかとヒヤヒヤしながら下る。朝、ゲート先で作業をしていた重機が少し上まで来ている。ゲートから4キロ先の材木集積場所まで道慣らしをするとのこと。川島さんが木材運搬の日程などを確認。明後日あたりか

らトラックによる材木運搬が始まるようだ。
15時53分、湯川車の留め置き箇所に戻る。復路は不動トンネル経由。

17時16分、風伝トンネルを通過したところで、川島さんが沖崎さんに電話を入れ、棟梁の作業場へ解体したビケ足場を戻す段取り可否の連絡依頼、そのまま、新宮市大浜の木下棟梁作業場へ向かうこととなる。

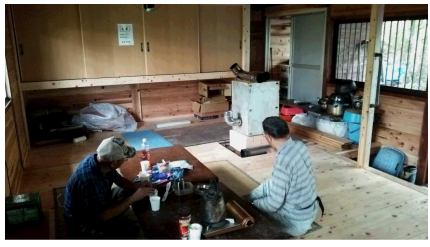
17時52分、新宮市大浜にある木下棟梁作業場に到着、沖崎さんが待機されていた。皆でトラックから積荷のビケ足場を降ろし、本日の作業が無事に終了。

台風11号の影響を受け、白谷林道の状況次第では引き返して来るだけということではあったが、支谷から流出した土砂を鍬・スコップで均し、大きな石を避け、児嶋さんの車のおかげで、持経宿に入宿することができ、改築完工の持経宿を拝見出来ました。
今回、少しではありますが作業のお手伝いに参加できて良かったです。

大活躍の児嶋さんのトラックと持帰った足場



明るく広くなった室内



本日の作業者



ビケ足場積み込み完了

行動タイム

鵜殿 7:15→8:52 林道ゲート 8:52→11:10 持経宿 15:10→17:52 新宮 (大浜)

(記 湯川)